

女性乗員の会の取り組み



2024.2.4 航空医学適性セミナー

日本航空 運航本部 運航乗務員ウエルネス推進部

笠井あすか

Elevate Her Aviation



Become a Member!

FREE, LIFETIME Membership.
Join our growing global community of women in aviation!

Redeem your free membership pack once you have become a member.

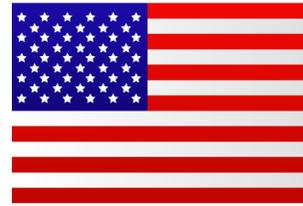
JOIN NOW!



2023年5月～女性パイロットの知名度向上と教育、支援
パイロットによるブログ記事掲載
志願者への奨学金やトレーニングなどの情報を紹介
実際にパイロットとして働く女性たちの姿を目に見える形でアピール



Photo by NextNewMedia/Shutterstock.com



ユナイテッド航空

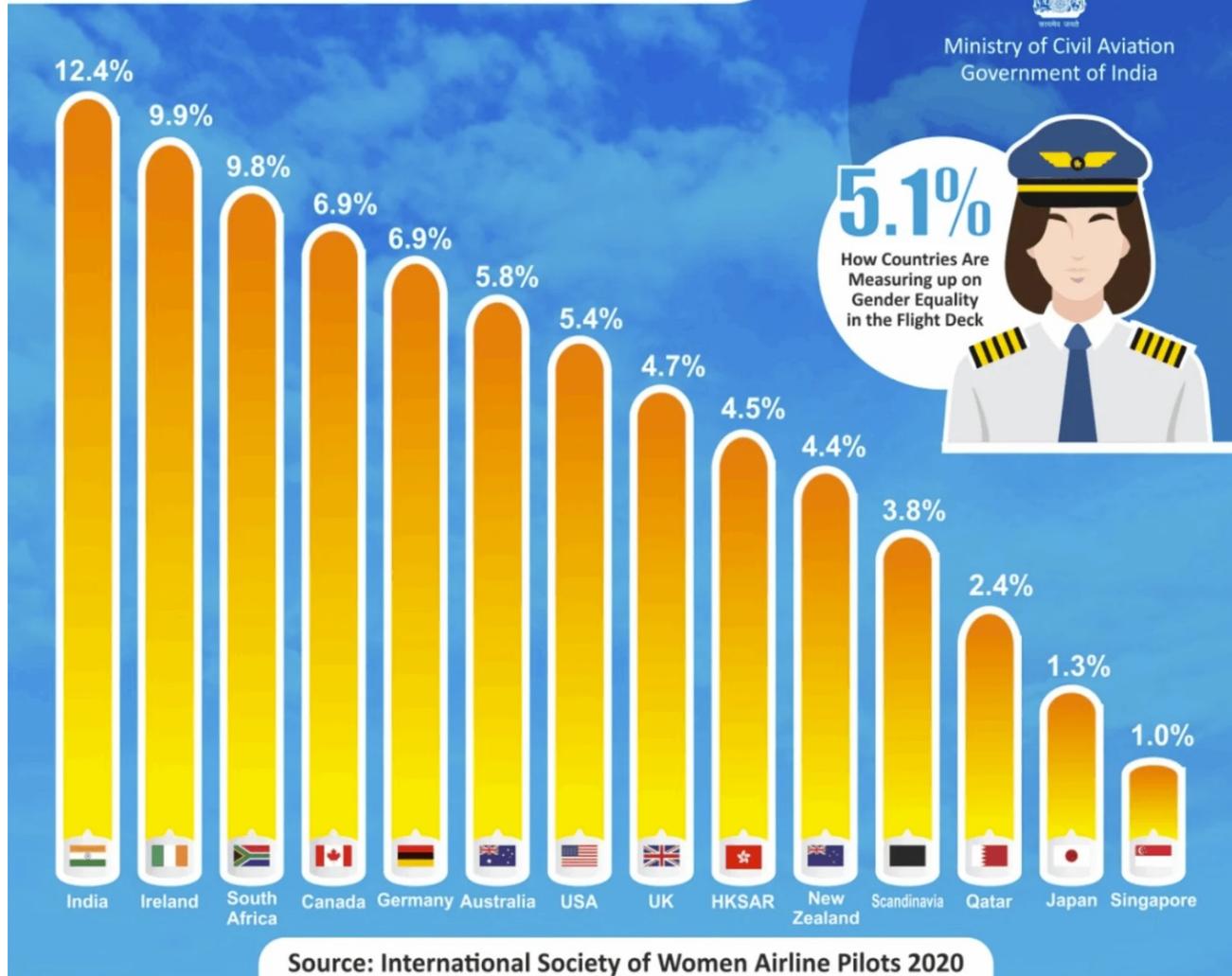
女性パイロット7%, マイノリティ13%の現状を是正

傘下のフライトスクールで2030年までに2500人は女性又は有色人種で構成

奨学金制度も用意

卒業生はユナイテッドでの雇用が保証

How Countries Are Measuring up on Gender Equality in the Flight Deck



- 日本の世界ジェンダーギャップ指数は先進国の中で最下位
- 女性乗員の割合が少ない
- ライフワークバランスのイメージがつきづらい
- 会社によって、不妊治療、育児休暇等の制度が異なる

【インドの航空会社】

- 妊娠中も飛行業務を除いて安全に仕事を続けられるような柔軟性を提供
- 26週間の有給出産休暇、育児のための託児所も提供、各種費用負担
- 子どもが5歳になるまで、月に2週間の休暇が取れるようなフレキシブルな契約形態
- 深夜の帰宅になる場合の運転手と警備員の配置
- 男性パイロットとの賃金差がない（機長や副操縦士としての経験時間で賃金が決まる）
- 親や親戚と暮らす人が多い、家政婦の文化が十分に浸透

【日本航空】

- 女性の常勤乗員健康管理医、保健師、臨床心理士
- 女性訓練生との定期的な座談会
- 女性特有の病気についての知識の共有
- 不妊治療：1年以内の休職期間を1か月単位で2回まで分割取得が可能
- 産休、育休制度、産前地上勤務制度、育児日（1歳未満）、短日数勤務制度（小学校3年生以下）等
- 社外における制度・サービスを活用した支援（子供家庭長ベビーシッター派遣事業割引券の交付等）

- 技術職であり、技量の維持は必須
- 機種移行、昇格訓練の年齢と出産育児年齢に重なる
- 体調不良（月経痛、ピルの副作用、頭痛等）による訓練中止
- 乗員同士の間人間関係の問題

- 航空身体検査マニュアルに従い、乗務停止期間が定められている
明確な記載がなかった（審査会へ）
- 航空身体検査マニュアルを理解している産婦人科医がいない
- 女性ホルモンに左右され、年代毎の健康管理
- 宇宙航空医学領域について、性差医療は研究段階
- 女性パイロットが産婦人科領域の正しい知識を得る機会がない
- 指定医の産婦人科領域についての知識不足



環境は最低。子供が2歳以降は休業が延長できず、それでいて勤務はステイ三昧、スケチェン三昧。配慮は公平性のためなし、何を持って公平なのか理解できない。深夜早朝関係なく、子供との生活時間帯が乖離し、家庭は疲弊して子供の精神状態まで影響している。短日数勤務は給与体系があまりにも勤務者に不利、労働力搾取の構造。改善されなければこの業界に未来はない。

「不規則な勤務でホルモンバランスが崩れやすい中での妊娠」
「早朝、深夜、外泊有りの勤務、携帯電話さえ繋がらない勤務環境での子育て」「妊活、育児は国際線乗務ではできない」

ワークライフバランスに関して、立場や性差関係なく意見を言えたり、相談しやすい環境があれば、より意見が集まり環境が改善されていくのではと感じる

是非、経験者の声を伺いたい。また、女性パイロットの交流会をもっと積極的に行いたい。現状、女性パイロットの分母が少ないので情報が薄くなりがちなのが問題に感じる。他社での取り組みを含め、もっと情報共有の場が欲しい

- ロールモデル

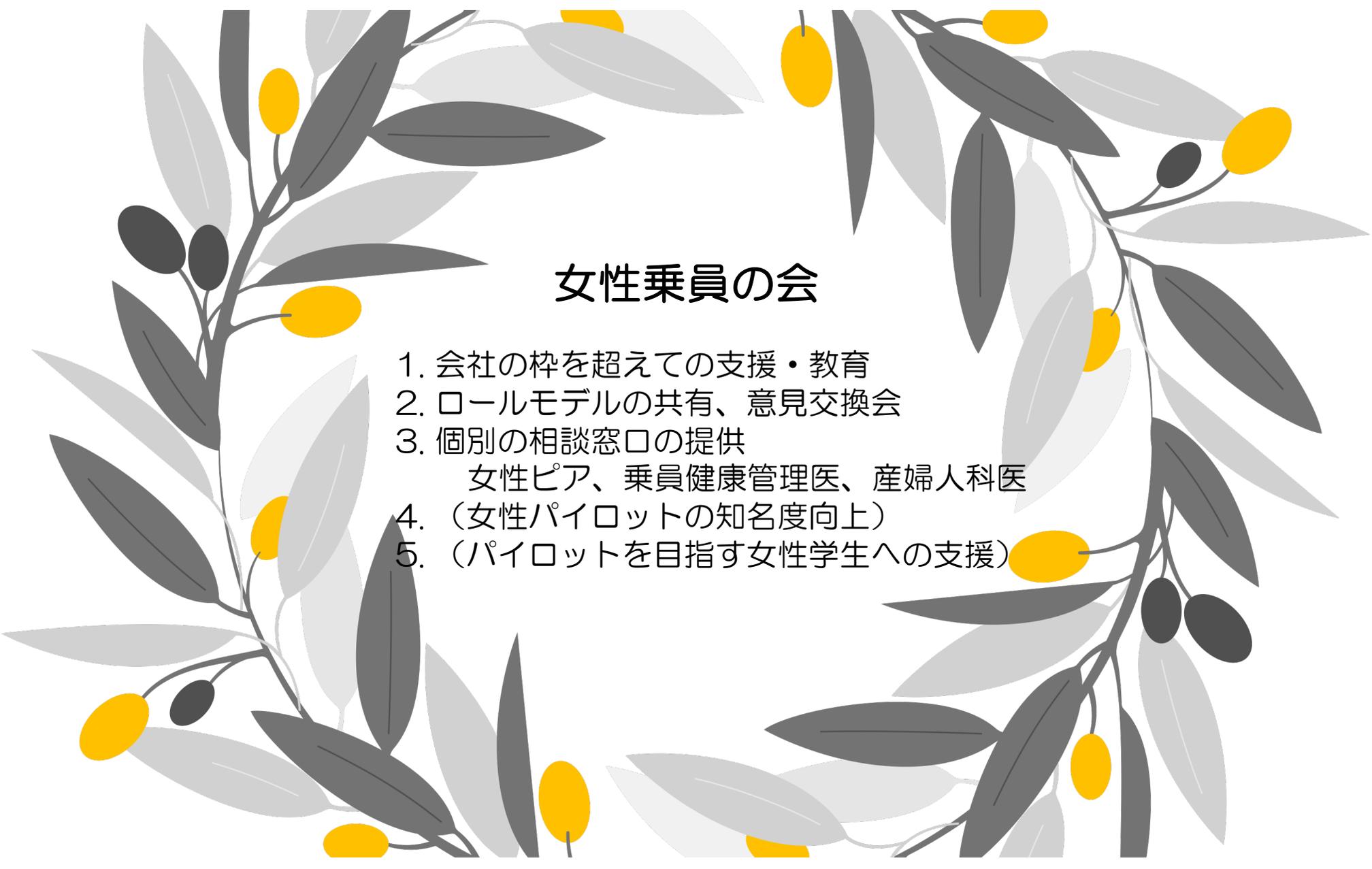
- 技量維持を中心とした

- ライフワークバランスのイメージをつける

- 乗員健康管理医と産婦人科専門医のサポート

- 女性パイロットの航空身体検査に沿った各年代ごとの健康管理

- 正しい知識をつける



女性乗員の会

1. 会社の枠を超えての支援・教育
2. ロールモデルの共有、意見交換会
3. 個別の相談窓口の提供
女性ピア、乗員健康管理医、産婦人科医
4. (女性パイロットの知名度向上)
5. (パイロットを目指す女性学生への支援)

第3回女性乗員の会

日時：2024年2月22日(木) 13:00~16:30

場所：Lovey 糀谷駅から徒歩4分

テーマ：「妊娠、出産、子育てと乗員としてのキャリアプラン」

I. 知識の共有、質疑応答

日本大学医学部付属板橋病院 産婦人科 杉村航大先生

「乗員の背景を考慮したピルの使用・プレコンセプションケア

妊活・不妊治療について知っておいてもらいたいこと」

II. 相談窓口の紹介

メンター：FDA山本さん

女性ピアの活動について：笠井

III. ロールモデルとして経験の共有（各10分程度）と質疑応答

「妊娠子育てとの両立」と「この仕事を続けるため・昇格訓練に臨むためには、
技量維持のためどの様な意識や覚悟をもっているか」等を各10分程度＋質疑応答

- 1) 子育て 国内線：夫婦ともにパイロット、異なるエアライン
- 2) 子育て 国際線 短日数勤務をしていない(10割勤務)
- 3) 子育て 機長昇格の兼ね合い
- 4) 妊娠しながらの乗務

日本航空のパイロットピアサポート

JPSPは皆さんの「なりたい」をサポートします



相談・カウンセリング



心理検査のフィードバック



アルコール相談窓口



復帰プログラム



訓練生へのサポート



グループ各社へのサポート

JPSP HPより

女性パイロット ピア

ANA 梨木 玲奈さん
AKX 君塚 詩帆さん
APJ 千房 まりさん
JAL 長谷川千春さん
FDA 山本 庸子さん





女性乗員の会
良い名前募集中です！